

村上市行政改革大綱前期実施計画の平成22年度取り組みに対する答申の取りまとめ方法

昨年度、同様に行政改革大綱前期実施計画の取り組みに対する意見を諮問し、答申をいただきましたが、そこでは「市として目標に対する事業の自己評価を行ったことは、行政改革の一環として意義あるもの」としながらも、「市として評価決定した理由付けが明確になっていないことから、より詳細に評価の過程が分かるよう内部評価の基準を見直ししていただきたい」という内容でした。

そこで、平成22年度の取り組みについては、評価に至った詳細が分かるよう各項目について個別表を作成し、前回の行政改革推進委員会にその様式を諮ったうえで、内部評価を行いました。

今回、諮問しましたとおり、市としての内部評価がまとまりましたので、答申に向けて行政改革推進委員会としての意見取りまとめ方法を整理いただきたいと思います。

<取りまとめ方法>

(1) 全ての個別表(138枚)について、行革委員会としての意見をする。

ア 全て、委員会全体で意見をしていく。

イ グループに分かれて意見をし、特に気になる項目だけ全体で行う。

(2) 個別表の中の一部について意見をする。

ア 評価で選定する。(今年はC評価が付いているものについて意見をする等)

イ 項目で選定する。(今年は組織・職員改革について意見をする等)

ウ 特に決まりを設けずに気になるものを選定する。

(3) 個別には意見をしない。

ア 全体を見たなかで答申を行う。

<スケジュール>

